

第18回ファミリーホーム全国研究大会 in 旭川2024

『子どもが育つ家庭として』

～ファミリーホームで子どもが健やかに育つために～

大会要項

ファミリーホームが制度化して、今年で15年の月日が流れています。ファミリーホームの制度立ち上げのためにご尽力くださった諸先輩のおかげで今があります。

さて、日本の社会的養護の方向が家庭養護となり、ファミリーホームの役割がますます大きくなってきております。国の調査ではファミリーホームは思春期の子どもが多いこと、ケアニーズの高い子どもが多いことが報告されており、そうした中で全国のホームが子どもを育てるために日々尽力されています。

こども家庭庁が設立され、こども真ん中、子どもの権利ということが叫ばれていますが、10年前に北海道で行われた札幌大会では、アメリカからボブ・ルイス教授をお招きして「子どもの視点で見たこどもの権利」という分科会がありました。

全国大会はファミリーホームが全国から一堂に会して子どもにとって何が大切か、どのような方向性に向かうかなどファミリーホームの未来をみんなで思い描く良い機会となります。

今回のテーマは「子どもが育つ家庭として」-ファミリーホームで子どもが健やかに育つために-です。社会的養護に関わる人たちが北の大地北海道で「子どもの視点から」今後のファミリーホームの在り方を考え、交流を深め、みんなで手をつないで日本の素晴らしい家庭養護を目指そうではありませんか。

第18回 FH 全国研究大会 in 旭川 2024 実行委員長 北川聡子

大会期間： 令和6年7月29日（月）～30日（火）

大会会場： アートホテル旭川

北海道旭川市7条通6丁目29番地2

TEL: 0166-25-8811

JR 旭川駅北口 徒歩15分

主催 一社) 日本ファミリーホーム協議会・北海道ファミリーホーム協議会

企画運営 第18回ファミリーホーム全国研究大会 in 旭川 2024 実行委員会

後援 内閣府こども家庭庁 北海道 札幌市 旭川市 公益財団法人 全国里親会
(予定) 全国児童養護施設協議会 全国自立援助ホーム協議会
全国児童家庭支援センター協議会 全国乳児福祉協議会 北海道新聞社

大会プログラム

7月29日 (月) 〈1日目〉	11:30	受付開始 ホテル3F
	12:30	開会式 ホテル3F「ボールルーム」
	12:50	行政報告 内閣子ども家庭庁
	13:20	記念講演 旭山動物園 統括園長 坂東元氏 「動物の子育てに学ぶ」
	14:50	基調講演 社会福祉法人 養徳園 総合施設長 福田雅章氏 「社会的養護で育つということ」
	15:50	シンポジウム ・日本ファミリーホーム協議会 会長 北川 聡子 氏 ・全国児童家庭支援センター協議会 会長 橋本 達昌 氏 ・全国自立援助ホーム協議会 会長 申間 範一 氏 「地域みんなでつながる子育ての輪」 ーファミリーホーム、自立援助ホーム、児童家庭支援センター、 それぞれの立場からー
18:20 20:20	交流会	
7月30日 (火) 〈2日目〉	9:00 ~	・第1分科会 「家庭養護における家庭支援の在り方」
		・第2分科会 「教えて！ こんな時どうする愛着障害」
		・第3分科会 「こころの自立とは？」
		・第4分科会 「こころの自立と実親交流のあり方」
		・ユースプログラム 「ピンゴ大会&安心できる語り場」
	12:20 12:30	閉会式

大会スケジュール

【1日目】7月29日（月）

11:30 12:30 12:50 13:20 15:40 15:50 17:20 18:20 20:20

受付	開会式	行政報告	記念講演	基調講演	シンポジウム	休憩	交流会
子どもプログラム:①室内託児 4F:託児室						17:40	
:屋外コース②~⑥ 3F:受付							

【2日目】7月30日（火）

8:30 9:00 12:20 12:30

受付	分科会①~④	ユース会場⑤	閉会式
子どもプログラム:①室内託児 4F:託児室			13:00
:②~⑥屋外コース 3F:受付			

交流会プログラム

29日 18:20~20:20

交流会	テーマ	「子どもが主役！本日のエンターテイメント」
	担当	◎岩松弘毅（札幌：ベテスダホーム）○中村 由美子（帯広：FH みんなのおうち）、宮崎美香子（旭川：ゆりかごの家）
	趣旨・概要	<p>全国のファミリーホームが一堂に参加する交流会！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもプログラムのキラキラフォトストーリー ・全国各ブロックごとの子ども地域紹介とアピール ・参加ホームによるパフォーマンス ・【特別企画】旭山動物園バックヤードツアー募集 ・その他

第1分科会	【テーマ】	「家庭養護における家庭支援の在り方」 ～支えよう！守ろう！『この子』の家庭～
	担 当	◎三神利恵（FH 三神家）◎池田一男（FH ひなたぼっこ）
	趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭養護における支援の要であるフォスタリング機関の在り方について、先進地域の事例をもとに考える。 ・養育家庭は子どもが日々の暮らしを営む場であり、絆を育む心の空間でもあります。多様な課題を持つ子どもが多いファミリーホームでは、子どもが育つ家庭として様々な視点が必要。
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ① こども家庭庁⇒全国のフォスタリング機関の整備状況と先進的事例紹介 ② 栃木フォスタリングセンター⇒[施設、里親、FH]の連携による体制構築までの経緯、現状など ③ 静岡県里親家庭支援センター⇒平成22年に里親会が母体となって、センターを設立 ④ 「家庭養護に求められる家庭支援」の事例⇒課題の多い子ども（FH、里専など） ⑤ こども家庭庁、北海道子ども未来局局長、中央児相長、札幌市児相長、福田先生など 	
第2分科会	【テーマ】	「教えて！ こんな時どうする愛着障害」 ～愛着障害の視点から理解する支援課題と支援の実際～
	担 当	◎西野恭一（FH ひかり）○山田大地（FH スミールヒュース）
	趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な課題を持っているファミリーホームの子ども達に愛着障害の支援技術をどのように実践していくかを事例を通して研鑽する。 ・多くの実践経験を持つ和歌山大学の米澤好史先生からアセスメントや具体的支援方法について助言をいただき、ファミリーホームでの事例や児童養護施設などでの実践例を参考にしながら愛着障害に対する向き合い方を参加者で共有する。
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ① web による米澤好史先生（和歌山大学）の講演 ② FH 養育者からの事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県ひろせホーム 広瀬タカ子 氏 ・他2ホーム ③ 道内の乳児院や児童養護施設、里親相談員の事例ケース紹介（2例程度） ④ 意見交換 	

第3分科会	【テーマ】	「こころの自立とは？」 ～コミュニティの力があって子どもは自立する～
	担 当	◎中村由美子（FH みんなのおうち）○藤江勇士（FH プレイズ）
	趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設等の高校進学率は87.7%、全体より10%低く退学率も全体の3倍という現状にある。こうした中で、経済的な自立のための職探しにとどまらず一人ひとりが社会的不利をはねのけ、生きていく手立てを見つけ、それを獲得するために大切なことは何か？ ・子どもの心の自立は家族（自分を大切だと思ってくれる人）や、自分を分かってくれるコミュニティが基盤となっていくのではないか。 ・人間関係やつながりに関する困難・不安・心配を乗り越え、心の自立に向けたコミュニティとの連携をどのように行っていくか、やまねこクリニック田中院長の講演とファミリーホームの事例報告により、参加者全員で考えを深めていく
	概 要	<p>①講演「こころの自立とは？」 やまねこクリニック院長 田中哲先生</p> <p>②事例報告 FH いしかり 中谷孝幸氏 他3名</p> <p>③グループセッション</p> <p>④まとめ やまねこクリニック 田中哲先生</p>
第4分科会	【テーマ】	「こころの自立と実親交流のあり方」
	担 当	◎中兼正次（FH フリフリ）○近藤太一（FH ぶどう）
	趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭養護においては、子どもと実親の交流が養育家庭の日常生活に非常に大きな影響を与える場合がある。 ・このため、子どもの権利や望ましくない条件、自立に与える影響など多方面から考察する。
	概 要	<p>①講演「こころの自立とは？」（田中哲先生、第3分科会と共同聴講）</p> <p>②事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーホームから事例発表と考察（3件） ・実親と里子の交流経験から考える、子どもの権利と家庭復帰、里子が実親に会わない権利とは ・実親交流に里親・ファミリーホームが関与できるか ・児童相談所からのコメント <p>③グループ討論</p>

ユースプログラム	テーマ	「ビンゴ大会&安心できる語り場」
	担当	◎幅三平（麦の子）◎伊藤貴啓（札幌：グレーブ）
	概要	<p>全国のファミリーホームで暮らす中学生以上（ユース）が集まる語りの場</p> <p>① 参加費無料でビンゴ大会等の賞品を獲得できる（アイスブレイクの催し）</p> <p>② 参加者が安心して参加できるよう、参集・企画・語りの場はクローズ形式</p> <p>③ 企画・語りの場などに、経験あるファシリテーターを起用</p>

子どもプログラム

No	子どもプログラム	対象	利用時間
①	室内託児コース ・手品や人形劇などのイベントあり	0～小3 （その他要相談）	【受付】ホテル4F 29日 11:30～17:40 30日 8:30～13:00
②	旭山動物園コース ・水中を飛ぶペンギンやダイブするホッキョクグマなど ・専用スペースで休憩	小3以上 《未満》は補助者同伴	ホテル3F 《29日》 【受付】11:30～12:30 【解散】17:30～18:00 《30日》 【受付】8:30～9:00 【解散】12:30～13:00
③	科学館サイパルコース ※最少催行人数:10人 ・宇宙ゴマでの無重力体験や月の重力体験できるムーンジャンプ、プラネタリウム		
④	eスポーツICTパークコース ・ICTパークは巨大スクリーンを持つeスポーツのゲームスタジオ。対抗戦に参加して賞品をゲットしよう！ ・ゲームに参加しない方は無料です。		
⑤	石狩川サイクリングコース ※最少催行人数:6人 ・「川の街・旭川」を流れる石狩川の緑地に続くサイクリングロード。大雪山連邦を背景に三浦綾子記念館や旭川駅裏ガーデンなどをのんびりと廻ります。		
⑥	ビバアルパカコース ※最少催行人数:20人 ・ふわふわ、もふわふわのアルパカをハグしませんか？ ・ビバアルパカ牧場では10頭以上のアルパカやウサギなど可愛い動物とのふれあいや山頂ドライブ、大人の秘密基地、ムシ捕りが待ってるぞ。		

大会・交流会・子どもプログラム参加費

大会参加費 (大人)	日本ファミリーホーム協議会会員 北海道ファミリーホーム協議会会員	2日/人	5,000円
	里親及び行政機関	2日/人	6,000円
	大学生・専門学校生	2日/人	3,000円
	上記以外の非会員	2日/人	8,000円
交流会	大人食	アルコール飲み放題付	7,000円
	大人食(中高校生用)	フリードリンク付き	6,000円
	お子様ランチ(蘭)	フリードリンク付き	4,200円
	お子様ランチ(幼)	サービスドリンク付き	1,500円
子どもプログラム	① 室内託児	1日/人	1,000円
	② 旭山動物園コース	子ども1日/人	2,000円
		高校生以上1日/人	4,000円
	③ 科学館サイパルコース	子ども1日/人	2,000円
		高校生以上1日/人	3,000円
	④ e-スポーツ ICT パークコース	子ども1日/人	2,000円
		見学者	無料
	⑤ 石狩川サイクリングコース	子ども1日/人	3,000円
		高校生以上1日/人	4,000円
	⑥ ビバアルパカコース	子ども1日/人	3,000円
		高校生以上1日/人	4,000円

企画運営 第18回ファミリーホーム全国研究大会 in 旭川 2024 実行委員会
 事務局 札幌市東区北39条東12丁目1-7 (ガブリエルホーム内)
 北海道ファミリーホーム協議会 事務局長 竹内 透
 Tel・Fax:011-776-7786 Gmail:fhgaburi@gmail.com

日本ファミリーホーム協議会

すべての子どもは、家庭において豊かな愛情を注がれ成長していく権利を持っています。私たちファミリーホームは、社会的養護を必要とする子どもたちに、子どもにとってあたり前の生活の場である「家庭」を提供し、迎え入れます。

子どもを権利の主体として尊重し、地域に根ざした家庭としての暮らしを通して子どもの豊かな発達と自立を支援し、子どもたちが自己肯定感を感じられ、ともに育ちあうことのできる生活を子どもたちとともにつくります。

私たちファミリーホームは、家庭養護として事業化され社会的な養育を担う者としての公的責任を託されていることを自覚し、子どもや家族、社会から信頼される、専門性を持った養育力の向上に努めます。

1. 子どもの最善の利益の尊重

私たちファミリーホームは、一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、愛着関係と基本的な信頼感を基盤とする養育を通し、子どもたちの豊かな発達と自立を支援します。

2. 家庭養護の保障

私たちファミリーホームは、養育者が地域に住まう家庭に子どもを迎え入れ、家庭での生活を大切にしながら、養育者と子ども、子ども同士の関係を守り、活かし、子どもたちが豊かに育ちあうことを支援します。

3. 子どもとその家族への理解と支援

私たちファミリーホームは、それぞれの子どものおかれた状況や生きてきた歴史、育ちの姿を受けとめ、子どもとその家族との関係を大切にしながら養育します。

4. 守秘義務の遵守・プライバシーの保護

私たちファミリーホームは、守秘義務を守り、子どもやその家族のプライバシーを尊重し、子どもも大人も相互に信頼と安心に満ちた家庭生活の実現に努めます。

5. 子どもの安全・安心の保障と権利擁護

私たちファミリーホームは、子どもの基本的人権と権利を擁護し、いかなる理由があっても、あらゆる虐待・人権侵害・社会的排除を否定し、これらから子どもを守ります。よって、私たち自身もこれを行いません。

6. 子どもの意見表明の支援と子どもの代弁

私たちファミリーホームは、家庭生活を通して子どもの自己実現を支援し、子どもが主体的に自らの意思を表現できるよう支えます。また、日々の養育を通して子どもの声を聴き、ニーズを受けとめ、子どもの立場に立ってそれを代弁・発信していきます。

7. 地域社会や他機関との連携

私たちファミリーホームは、地域の人々と協力し合い、関係機関・団体と連携するネットワークや関係者とのつながり・支援を活用しながら、ひらかれた養育を目指します。

8. 信頼される養育のための専門性の向上

私たちファミリーホームは、研修や仲間との学び合い、自己研さんを通して人間性や専門性の向上に努め、社会的養護の養育を担う者としての責務を果たします。